

ニュースクリップ & 映像教材

■第46回「教育・文化週間」展開中

■「先進 I T活用教育シンポジウム in 岐阜」開催

■「New Education Expo2004」開催

■「地域における子どもの体験活動推進フォーラム」開催

■「インターネット発のショートフィルム映画祭」参加作品を募集

文部科学省情報

■第46回「教育・文化週間」展開中

文部科学省では、11月1日（月）から11月7日（日）までの1週間を、「教育・文化週間」と位置づけ、全国でさまざまな催しが行われる。

この週間は、我が国の教育・文化に関して、関係者のみならず、広く国民の理解と関心を深めるとともに、国民全般の協力を得て、教育文化の充実・振興を図るために、昭和34年に設けられた週間であり、今年で46回目を迎える。

例年、11月3日の「文化の日」を中心に、全国で教育・文化に関するさまざまな行事が行われており、本年も、各都道府県、関係団体の協力を得て、美術館・博物館の特別展や無料開放、公開講座の実施など、さま

ざまな行事が実施される。詳細は、文部科学省ホームページを参照のこと。

<http://www.mext.go.jp/>

研究会情報

■「先進 I T活用教育シンポジウム in 岐阜」開催

（財）コンピュータ教育開発センター主催による標記シンポジウムが、「I Tで実現する『分かる授業・楽しい授業』」をテーマに開催される。

〈開催日時〉

平成16年12月4日（土）

10:00～17:00

〈開催場所〉

ソフピアジャパン・センタービル(岐阜県大垣市加賀野4-1-7)

〈内容〉

○基調講演「有効な I T活用の方法と評価」清水康敬氏（(独)メディア教育開発センター理事長）

○分科会①コンソーシアム形式のプロジェクト事例の発表、②学校の実践事例発表（6事例）、③大学の発表（3大学）、④企業プレゼンテーション（6企業）

○パネルディスカッション「個に応じた学習を支援する I T」（仮題）—通信ネットワークと教育用コンテンツの活用—村瀬康一郎氏（岐阜大学教授）他〈参加申込〉

ホームページから申し込む。参加費無料。

<http://www.cec.or.jp/e2a/>

〈問い合わせ先〉

（財）コンピュータ教育開発センター 〒108-0072 東京都港区白金1-27-6 白金高輪ステーションビル3F

TEL 03-5423-5914

FAX 03-5423-5916

■「New Education Expo2004」開催

資料紹介



「生涯学習ハンドブック —Q&Aとその実践例—」

千葉県社会教育協会編集・発行
2004年8月刊 A4判 56頁
〈問い合わせ先〉
千葉県教育庁教育振興部生涯学習課
TEL 043-223-4068

本生涯学習ハンドブックは、平成4年度に第1集として発行された「生涯学習Q&A」から数えて第7集目にあたる。今回、これまでの6巻の総括として再び生涯学習Q&Aを取り上げている。

平成15年の千葉県教育庁の組織改変に伴って社会教育課が生涯学習課となったことを受け、千葉県社会教育協会も初心に立ち返り、生涯学習の振興に寄与するということを会則に明記したとのことで、本ハンドブックからもその決意が強く感じられる。

Q&Aの構成は、総論、学校・家庭・地域社会の役割と連携、奉仕活動・体験活動、社会教育関係団体とNPO、社会教育・生涯学習施設、情報通信技術を活用した生涯学習の推進、これからの社会教育、という7

つの柱からなっている。社会教育・生涯学習の考え方や根拠法令など基本をしっかりと押さえつつ、ITやNPOといった最新の動向まで、参考資料や豊富な実践例を織り交ぜて分かりやすい説明がされている。

タイトルに「Q&Aとその実践例」とあるように、Q&Aの内容を実践例で具体的に示しているが、実践例は千葉県内の特色ある先進事例が取り上げられており、解説で具体的なイメージを細かく説明している。

青少年の問題行動が大きな課題となり、教育をめぐる状況がめまぐるしく変わっている現在、生涯学習が進むべき方向に関して、社会教育・生涯学習に携わる職員だけでなく、学習者にも役立つ内容となっている。

(村上長彦)

New Education Expo2004実行委員会主催による標記セミナーが、東北（宮城）、宮崎、福岡で開催される。今回は、「教育の情報化」「教育制度改革」「あたらしい学校づくり」「これからの授業運用実践」「新学習指導要領に対応した教材整備」「環境対応施設設備」等をテーマに掲げ、有識者による講演、各学校の実践事例発表等をセミナー形式で実施する。

〈開催場所・開催日〉

○東北会場：平成16年11月10日（水）～11日（木）／サンフェスタ（宮城県仙台市若林区卸町2-15-2）

○宮崎会場：平成16年11月6日（土）／宮崎大学教育文化学部（宮崎市学園木花台西1-1）

○福岡会場：平成16年11月20日（土）／福岡ファッションビルFBBホール（福岡市博多区博多駅2-10-19）

〈基調講演〉

○東北会場：「日本の学校教育の将来」樋口修資氏（文部科学省大臣官房審議官初等中等教育局担当）

○宮崎会場：「情報化社会の進展に学校はどう対応するのか？」永野和男氏（聖心女子大学教授）

○福岡会場：「情報化の進展とこれからの教育」清水康敬氏（（独）メディア教育開発センター理事長）

〈詳細ならびに申し込み〉

詳細は、下記のホームページにて公開。参加申し込みもホームページより。

<http://expo.uchida.co.jp>

〈問い合わせ先〉

New Education Expo事務局

（株）内田洋行 教育システム事業部営業企画課内 〒135-8730 東京都江東区潮見2-9-15
TEL 03-5634-6397

FAX 03-5634-4088

■「地域における子どもの体験活動推進フォーラム」開催

（独）国立オリンピック記念青少年総合センター主催による標記フォーラムが開催される。

〈開催目的〉

青少年を取り巻く問題は依然として深刻な状況にあり、民間団体が行う地域における体験活動等の取り組みは一層重要性を増している。このため、今後の地域における体験活動の在り方を考え、取組の裾野を拡げることや地域で子どもの健全な育成を図ることの重要性について考える。

〈開催日時〉

平成16年11月19日（金）

13：45～17：00

〈開催場所〉

（独）国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟小ホール（東京都渋谷区代々

松下電器産業株式会社 パナソニック システムソリューションズ社は、撮影した動画や集音した音声を、携帯電話端末 FOMA のテレビ電話機能で確認できる、FOMA 対応ネットワークカメラ「ネビカーフ」を開発、10月25日より発売を開始した。

FOMA 対応ネットワークカメラは、高画質な MPEG-4 動画と高感度化を実現し、本体のカードスロットにカード型 FOMA 端末 (FOMA P2402) を差し込むだけの簡単な接続で、システムを構築することができる。

FOMA 端末からのカメラ制御や、外付けセンサーと連動させたアラームによる発信なども可能で、効率的なモニタリングが、いつでもどこでも可能。遠隔地モニタリングによって、幅広いシーンで、幅広い用途に、

ハードウェア



FOMA 対応ネットワークカメラ 「ネビカーフ」

〈問い合わせ〉

松下電器産業株式会社

パナソニック

システムソリューションズ社

システムマーケティング総括部

宣伝チーム

TEL 045-540-5677

<http://www.matsushita.co.jp>

手軽に活用することができる。

〈特長〉

- カード型 FOMA 端末を本体のカードスロットに差し込むだけの簡単接続。インターネットを介す必要がないので、サーバーやルーターなどの接続作業、プロバイダーとの契約手続きなどが不要。
- FOMA 端末から、カメラの向きや電子ズームなどの制御が可能。1台のカメラで広範囲、かつ効率的なモニタリングができる。
- 高画質な MPEG-4 動画と高感度化を実現。
- 外付けセンサーとの連動で簡易セキュリティにも活用可能。センサーからアラーム信号を検出すると、あらかじめ登録された電話番号に発信する。

木神園町3-1)

〈対象〉

青少年教育に関する民間団体の関係者、ボランティア、行政関係者、子どもゆめ基金支援企業等

〈講師〉

今西幸蔵氏 (京都学園大学教授) / 星野敏男氏 (明治大学教授) / 高田研氏 (岐阜県立森林文化アカデミー教授) 他

〈申し込み・問い合わせ先〉

(独)国立オリンピック記念青少年総合センター 基金部助成課
TEL 0120-579081

FAX 03-3467-7484

コンクール情報

■「インターネット発のショートフィルム映画祭」参加作品を募集

SantaFe 実行委員会とアトムショックウェブ (株) の共催による標記映画祭の参加作品の

募集が開始された。

映画祭では、オンラインの映像祭を開催し、「インターネットでの視聴を主な目的とした作品」に焦点を当て、「インターネットならではの」の見せ方を追求した10分以内のショートフィルムを広く募集する。

〈映画祭名称〉

「SantaFe X shockwave.com Internet Shortfilm Festival 2005」

〈募集作品テーマ〉

自由 (インターネット視聴を主目的としたベリーショートフィルム)

〈作品資格〉

- ①10分以内の映像作品
- ②作品ジャンル (ドラマ、ドキュメンタリー、CG等) 自由
- ③作品の発表、未発表は問わず
- ④応募作品の著作権は、出品者本人に帰属していること。等

〈応募締め切り〉

平成16年12月25日 (土)

〈問い合わせ先〉

SantaFe 実行委員会
SSISF@santamania.jp
TEL 03-3444-7623

短 信

■ (株) ディーアンドエムホールディングス プロフェッショナル ビジネス カンパニーは10月12日付にて営業所を移転した。

〈新住所〉〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー 13F

TEL 03-6731-5588

FAX 03-3553-5084

■ (株) エルモ社は10月1日付にてロゴタイプを一新するとともに、あわせてブランドメッセージを新たに制定した。

〈新ロゴタイプとブランドメッセージ〉

ELMO
FOCUS ON THE FUTURE